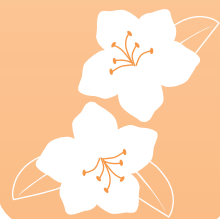


市政執行方針（要旨）



協働のまちづくり

市民と行政が互いの力を生かしなが
ら、より良いまちづくりを進める

私はこれまで、市民の皆さんから
の負託を受け、多くの方や多くの団
体からご理解とご協力をいただきな
がら、2期、約7年間、まちづくりに
携わってきました。

私が市長としてまちづくりを進め
るにあたり、何よりも大切にしてき
たのは、市民の皆さんと情報を共有
し、市民と行政が互いの力を生かし
ながら、より良いまちづくりを進め
る協働のまちづくりという考え方で
す。

登別市総合計画第3期基本計画の
策定にあたっては、まちづくりに率
先して取り組む市民による市民検討
委員会を立ち上げ、市民と行政が、
互いに登別をより良いまちにした
い、いつまでも住み続けたいと思
えるまちにしたいという共通の思い
のもと、時間をかけて話し合い、互

いに理解を深めながら取り組んでき
ました。

委員の皆さんからは、これまでに
ない、とても充実した協働の取り組
みになったという言葉をいただき
ており、この取り組みが今後の協働
のまちづくりを進めるにあたっての
基盤になるものと考えています。

第3期基本計画の 初年度として

今後10年間のまちづくりを見据え、
人口減少のスピードを緩める取り組
みを進めていく

わが国の経済は、緩やかな回復基
調にあります。が、いまだ個人消費の
回復に地域間でのばらつきが見られ
私たちのまちを取り巻く環境におい
ても、厳しい状況にあると言わざる
を得ません。

また、全国的な人口減少や少子高
齢化については、当市はもちろん、
各地においてもさまざまな取り組み

を展開しているものと認識していま
すが、地方での就労先の確保が難し
いなどの理由から、都市への若い世
代の流出が続いています。

このままでは高齢者を支えるはず
の若者が減少し、結果として公共サ
ービスが維持できなくなるという危
機感を多くの方が感じているもの
と思います。

当市においても、平成27年度に実
施した国勢調査における市内人口が
昭和45年以来、45年ぶりに5万人を
割り込み、今後も続く人口減少、特
に生産年齢人口の減少により、市税
などの歳入確保がさらに難しくなる
ことが予想されます。この厳しい現
状を乗り越えるためには、市民力を
結集し、知恵を出し合って、人口減
少のスピードを緩める取り組みを進
めていかなければなりません。

平成28年度は、第3期基本計画の
初年度にあたることから、今後10年
間のまちづくりを見据え、登別市の
将来が夢と希望に満ちた輝くもの
なるよう市民とともに取り組んでい
きます。

重点施策

- 誰もが健やかに安心して暮らせる
まちづくり
- 自然と調和した安全安心なまちづ
くり
- 各産業が元気に展開されるまちづ
くり
- 豊かなみどりと都市機能が調和し
たまちづくり
- 地域とともに豊かな個性と人間性
を育むまちづくり
- 住みつけたい、住んでみたいと
思える魅力あるまちづくり

誰もが健やかに
安心して暮らせる
まちづくり

全ての市民が健やかに安心して暮ら
せるよう、地域福祉の推進や子育て
支援の充実、幅広い年齢層の健康つ
くりを図る

生涯を通じて誰もが健やかに安心
して暮らしていくためには、市民一
人一人が生きがいをもって互いを尊
重し、ともに支え合うことが大切で
す。